

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	昭和17年～		
大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり
中項目	基本施策	04	安全で安心して暮らせるまちづくり
小項目	施策	03	防犯意識の高揚
事務事業名	01	防犯活動啓発事業	
根拠法令・例規等	備前市青色パトロール実施要領		
問	担当課(室)	市民課	
合	職・氏名	生活安全係長 初治 慎一	
先	電話	0869-64-1876	
	このシート作成に要した時間	3.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	幼児から高齢者まですべての市民
目的(何のために)	安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、地域社会の犯罪抑止機能の向上を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市がパトロールを率先することにより、地域で防犯パトロール活動の気運を高め、犯罪抑止機能を向上させる。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
防犯啓発活動事業	市民が、犯罪に巻き込まれないで安全で安心して暮らせるよう、地域の自主防犯組織等と連携し、犯罪抑止の見守り活動等を支援している。		
防犯パトロール事業	不審者情報が入ったり、安全安心まちづくり旬間等に青色回転灯車により、小学校区内のパトロールを行う。		
情報提供事務	市民に対し、毎月岡山県安全情報及び地域安全ニュース等の防犯情報を市のホームページで提供している。		
目的を達成するため実施した事業			

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
事業費	直接事業費	千円	102	43	37
	必要人員人件費	千円	0.42人	0.27人	0.24人
事業費計			3,658	2,679	2,397
決算額	国・県支出金	千円			
	受益者負担				
	財源				
	市				
	その他()				
一般財源		3,760	2,722	2,434	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	防犯啓発活動実施	説明	犯罪抑止力の強化及び犯罪被害防止のための啓発活動		
	結果指標量	事業	7	10	8
	対前年比	%	-	142.9%	80.0%
	活動コスト	円	2,961,050	2,177,248	1,947,648
単位当たりコスト	円	423,007	217,725	243,456	

事業の成果						
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値	
市が実施する防犯パトロールの強化回数	目標値(A)	25	25	25	25	
	実績値(B)	20	18	17	到達目標値	
	達成率(B/A)	80.00%	72.00%	68.00%	23年度	
成果指標設定の考え方・式や説明						
防犯パトロールが活発な地域以外を支援するため、市としても防犯パトロールの回数を増やす。						

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> B
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> B
	目的達成度		
有効性の評価	市民参画度		

留意事項の目的やその数値目標を定めて下さい

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	小学校の下校時に重点的に青色パトロールを実施・啓発活動及び防犯教室の開催、ホームページやメールマガジンによる情報配信など実施する。					

総合評価	
地域の安全は、地域で守るとの意識の高揚が安全安心まちづくりには大切であり、市が率先して啓発活動・防犯パトロールを実施することにより、より一層の意識の高揚を図り、犯罪抑止に努める。	評価区分 <A-E> B

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	引き続き、防犯活動・防犯パトロールを実施し、犯罪抑止に努める。					